

笠間が好きなひと。応援したいひと。この指とまれ！

笠間ファン倶楽部通信

2008 冬号

Vol.013



http://www.city.kasama.lg.jp/ss_info/fanclub/index.html



Kasama

表紙の写真／愛宕山ハイキングコース（左）、北山公園の雪景色、桃宴の陶雛、岩間烏よぶり（右上から順に）

笠間再発見！

冬の陽だまりハイキング in 愛宕山&難台山

笠間昔話

日本画の大家、木村武山と大日堂

メイド・イン・笠間で行こう！

笠間焼伝統工芸士って何だろう？

観光客が選ぶおすすめショップ FAN FAN KASAMA 我らは笠間応援団！ ほか

笠間昔話

木村武山、最晩年の作品が笠間に残されています。



●大日堂：住所／茨城県笠間市箱田2210 問い合わせ／tel 0296-72-1326 (木村宅) ※見学は要予約



日本画の大家、木村武山と大日堂

木村武山は明治9年(1876年)、笠間市箱田に生まれました。小さい頃より絵を描くのが好きで、笠間小学校卒業後は、東京の開成中学校に進学。その後、東京美術学校日本画科に入学します(その時の校長が岡倉天心)。卒業後も熱心に絵の勉強を続け、明治39年に五浦(茨城県北茨城市)へ横山大観らと共に移転。岡倉天心に色彩を絶賛された「阿房却火」などの代表作を残しました。晩年は脳溢血で倒れ、右手の自由を失います。それでも、昭和17年(1942年)にこの世を去るまで、左手で創作活動を続けました。最晩年の作品は、昭和10年に自らが笠間に建立した、仏堂「大日堂」の中に残されています。

大日堂は現在、武山のお孫さんである木村明正さん(写真・右)が管理されています。見学させていただくことも可能ということで、早速行って来ました。仏画が何枚かあるだけかと思ったら、

とんでもありません。仏堂の中に入ると、仏壇や仏壇の裏側、天井…ありとあら



ゆる場所に作品が残されていました。絵が好きなら、これは必見ですよ。作品のパワーに圧倒されます。お孫さんである木村さんに武山との貴重なエピソードをうかがいました。武山は電車の中で特徴的な顔立ちの人がいると、穴があくほどじーっと見つめていたそうです。そして家に帰るとスケッチブックに、その顔を描いたとか…どこにいても画家として生きていたのですね。遊びに行けばあいさつぐらいいはしてくれたそうですが、普通、孫にするようなこと(おんぶしたり、お菓子を買に行ったりなど)は、あまりしてくれなかったそうです。絵以外の表現手段は、ちょっと苦手だったのかもしれないね。

冬のイベント情報

来年へ歩く会

12/31(月) 大晦日 22:30~23:30(受付時間)
愛宕神社の初詣と山頂で初日の出はかが。記念品として湯のみ茶碗をプレゼント(限定500名)。
場/歌舞伎駐車場(受付)→愛宕神社(初詣)
料/無料 問/tel 0299-45-5666(田口)

第7回 かさま除夜の鐘

12/31(月) 大晦日 23:30~元旦1:00
江戸時代から時を告げてきた時鐘。その市指定文化財の時鐘について、新年を迎えてみませんか。先着100名に、温かい豚汁のサービスもあります。
場/佐白山麓公園内 時鐘楼
問/(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222
www.intio.or.jp/kasama

大晦日、除夜の鐘が響き渡ります。素晴らしい新年を迎えられますように!



初詣

笠間稲荷神社/日本三大稲荷のひとつで、全国各地から約50万人が参拝に訪れます。三が日は周辺道路が交通規制され、歩行者専用となります。
常陸国出雲大社/日本最大級の注連縄や大鳥居など見所もあり、縁結びの神様で有名です。
愛宕神社/日本三大火防神社のひとつです。愛宕山は初日の出を拝むのにも最高のスポットです。
問/(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222
www.intio.or.jp/kasama

第9回 彩初葉市

1/2(水)~1/6(日) 10:00~16:00(最終日15:00迄)
お正月の恒例、笠間焼の展示販売会です。限定40袋のチャリティー福袋や、笠間焼の福引抽選会など盛り沢山。嬉しい甘酒無料サービスもあります。
場/笠間工芸の丘 特設会場
問/笠間焼協同組合 tel 0296-73-0058
(期間中:笠間工芸の丘 tel 0296-70-1313)
www.kasama-crafthills.co.jp/

笠間日動美術館

特集展示・鴨居玲/同時開催・小磯良平聖書挿画展
1/2(水)~2/24(日)
日本・アメリカ館特別展示/パリに描く一山下充・福本章・寛本生展一
1/2(水)~5/6(火・祝)
没後80年 佐伯祐三展
3/6(木)~5/6(火・祝)
時/9:30~17:00(入館受付は16:30迄)
休/月曜日(祝日の場合は翌日) 12/17(月)~1/1(火・祝)
問/tel 0296-72-2160
www.nichido-garo.co.jp/museum

笠間工芸の丘

彩初葉市企画展 1/2(水)~1/20(日)
第4回 人にやさしい器展 1/2(水)~1/20(日)
第10回 笠間焼初葉展 1/16(水)~1/20(日)
場/常陽藝文センター
桃宴 1/23(水)~3/2(日)
杉本泰雄作品展 1/30(水)~2/17(日)
飯沼耕市作陶展 2/20(水)~3/2(日)
横山知加子個展-カタチのたし算- 3/5(水)~3/23(日)
土泥show 3/5(水)~3/16(日)
おくりもの展 3/19(水)~3/30(日)

【体験教室各種】

陶芸体験 ロクロ体験/2,100円~ 手ひねり体験/3,150円 絵付体験/1,050円~
クラフトパンチアート体験 料/2,100円(随時受付)
シルバークレイ体験 料/3,675円(随時受付)
フュージング体験 料/2,100円
絵手紙教室 料/2,100円/1回(材料費別) 開/第1水曜・第3木曜
バーナーワーク教室 料/14,700円(4回分・材料費込) 休/月曜日(祝日の場合は翌日) 12/24(月・祝)~1/1(火・祝) 問/tel 0296-70-1313
www.kasama-crafthills.co.jp

スカイロτζ冬季キャンペーン

1/4(金)~3/31(月) ※土曜・祝前日を除く。
期間限定で利用料金が30%OFFになるキャンペーンを実施。エアコン完備で調理器具や食器類もすべて揃っているので、食材を持ち込むだけでOKです。ぜひ、この機会にご利用下さい。
料/4人棟16,800円→11,760円、6人棟25,200円→17,640円、12人棟42,000円→29,400円
問/スカイロτζ管理事務所
tel 0299-45-6622



茨城県陶芸美術館

のこす・伝える「お宝」考今昔
1/19(土)~3/23(日)
時/9:30~17:00(入館は16:30迄)
【イベント各種】
ギャラリートーク
1/27(日) 13:30~
つつんでみよう 風呂敷ワークショップ
2/10(日) 13:30~ 先着30名(1/11(金)~受付)
講師/原野満実子(ふるしき研究会)
美術講演会「茶の湯文化とやきもの(仮)」
2/16(土) 13:30~ 聴講無料(先着150名)
講師/熊倉功夫(林原美術館長・国立民族学博物館名誉教授)
竹内館長と学ぶ・お宝取り扱いワークショップ
2/24(日) 13:30~ 抽選15名(2/15(金)まで受付)
学芸員と歩く・美術館バックヤードツアー&お宝拝見
3/1(土) 13:30~ 抽選15名(2/22(金)まで受付)
休/月曜日(祝日の場合は翌日) 12/28(金)~1/1(火・祝)
問/tel 0296-70-0011
www.tougei.museum.ibk.ed.jp

いちご祭り

1月中旬~5月中旬 9:30~15:30
料/30分食べ放題 1~2月1,300円、3月1,200円、4月1,100円、5月1,000円、3歳以下無料。
場/笠間観光いちご園(期間中無休)
tel 0296-72-9280(笠間みんげい)
場/南指原観光いちご園(月曜日休、祝日の場合は翌日)
tel 0296-70-3133(笠間クラインガルテン)
www.city.kasama.lg.jp/garten/index.htm

第12回 笠間観光フォトコンテスト 応募作品展

1/8(火)~1/18(金)
場/笠間ショッピングセンターポレポレシティ内
問/(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222
www.intio.or.jp/kasama

ワーホイ

1/12(土) 18:30~(天候により延期あり)
小正月に行われる五平地区の伝統的な火まつり。藁で組んだ燵を燃やし、古くなった御札を焼き、無病息災を祈願します。餅を焼いたり、甘酒なども振舞われます。
場/五平地区内水田
問/tel 0296-77-0247(藤枝)

桃宴~笠間のお雛様展~

1/26(土)~3/3(月)
各店舗・工房がコーナーを設け、独自の陶雛を個展形式で展示・販売。飲食店では、雛祭り限定メニューも登場します。笠間焼の陶雛や吊るし雛、伝統あるお雛様、ギャラリーロードでは、親子手づくりによるお雛様など、色々なお雛様がお出迎え。期間中の土日には陶雛ワークショップも開催。手づくりの街・笠間散策をお楽しみ下さい。
場/陶の小径、ギャラリーロード、笠間稲荷神社周辺、笠間駅周辺、やきもの通り、ほか
問/桃宴実行委員会 tel 0296-72-6865(山崎)

地域づくり団体全国研修交流会

2/1(金)・2/2(土)
笠間市分科会「訪れてよいまち・もてなしのまち」が行われます。参加者募集中です。
【交流会】
2/1(金) 16:30~21:00 参加費2,500円
地元の食材を活かした夕食を楽しみましょう。チャペルでのコンサートもあります。
【まちづくり体験ツアー(3コース)】
2/2(土) 8:30~15:00 参加費1,000円
昼食に笠間のオリジナル弁当付き!
申込期限 1/18(金)
問・申/笠間市市民活動課 tel 0296-77-1101(代)

節分祭

2/3(日)
節分とは、立春の前日に、悪疫退散、除災、招福の意味で行われる神事。笠間市内の各神社仏閣で節分祭が催されます。
場/笠間稲荷神社、常陸国出雲神社、愛宕神社、ほか
問/(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222
www.intio.or.jp/kasama

岩間鳥よばり 2/11(月・祝) 6:30~
農耕儀礼のひとつで、正月11日に各家々の田んぼで行われていた「鳥よばり」という稲作の予祝行事が昨年より復活。餅を撒いてカラスを呼び、稲の作柄を占います。
場/笠間市岩間地区泉の田んぼ
(愛宕山東面裾野の長田んぼ)
問/岩間伝統行事保存会 tel 050-3410-0503

初午いなり寿司まつり

初午の日(2/12(火))前後に開催予定。
※詳細が決まりしだい広報します。
場/笠間稲荷神社周辺
問/笠間市 商工観光課 tel 0296-77-1101(代)

第4回 クールシェヴェール 国際音楽アカデミー in かさま

3/21(金)~3/30(日)
ピアノとヴァイオリンの世界レベルのレッスンが開講。アカデミー期間中、講師コンサートや街角コンサートも開催します。
場/県教育研修センター及び市内各所
問/笠間市 生涯学習課 tel 0296-77-1101(代)

冬の陽だまりハイキング in 愛宕山&難台山

冬のハイキング？
そんなの寒くてイヤダ！
なんて言わないで。
ポカポカして、清々しい、
魅力いっぱいの山歩き。
笠間の自然が
あなたを待っています！



→冬のハイキングは、こんな絶景ポイントに出会えたりします。
←ハイキングコースの入口には、手作りの杖が置いてあります。



●冬の山は木の葉が落ちるので、陽が差し込んで、あたたかいです。

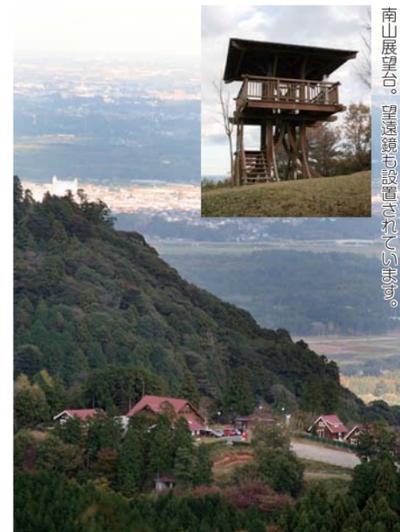
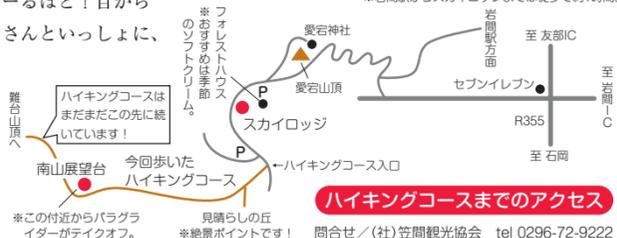


今回おすすめするのは「冬のハイキング」です。大多数の人は、寒いだけなのでは？というような、否定的な感想を持たれることでしょう。笠間には愛宕山、難台山、館岸山の周辺に、初心者でも安心して楽しむ

るハイキングコースがあります。愛宕山の達人こと大山文男さん（写真：左）に、その魅力を語っていただきました。大山さんは、茨城県の自然公園指導員としても活躍している、山歩きのプロフェッショナルです。「低山のハイキングの魅力は、何と言っても陽だまりハイキングですね。冬は木の葉が落ちるので、陽の光が差し込んで、あたたかいです」…なるほど！目からウロコです。早速、大山さんと一緒に、ハイキングコースを歩いてみました。スカイロッジ近くにあるハイキングコース入口から山に入り、南山展望台まで行って、戻って来

るという短いコースです。これならゆっくり歩いても、往復2時間半。お手軽に楽しめます。感心したのは、入口に手作りの杖が置いてあったこと。ほかにも、滑り止めの杭が所々に打ち付けてあったり、休憩用の丸太で作ったベンチが置かれていたり…管理者の手入れと心配りが行き届いた、気持ちの良いハイキングコースでした。

※岩間駅からスカイロッジまでは徒歩で約1時間。



南山展望台の南側に設置されたスカイロッジ。



写真左/南山展望台から見た愛宕山頂付近にあるスカイロッジ。愛宕山頂は標高306mなので、難台山頂（標高553m）途中にある展望台からは見下ろす形に。写真右/展望台付近。パラグライダーで空中散歩する人。

笠間ファン倶楽部 *活動報告1*



愛宕山の見晴らしの丘にて。案内役は大山文男さん。

11月に体験イベントとして、「星空満点ハイキングツアー」が行われました。スカイロッジに泊りながら笠間の自然を満喫するというこの企画。このページでも紹介している愛宕山ハイキングのほか、夕食は地元産の採れたて野菜を使った笠間の郷土料理に舌づつまみ、そして夜は星空観察、翌日は柿狩り体験と、参加したファン倶楽部会員は、笠間の豊かな自然をたっぷり楽しんだ様子です。笠間ファン倶楽部の入会は無料。詳しくは8ページの会員募集のコーナーをご覧ください。



フユイチゴを発見！ジャムにするとおいしいです。

●視界が開けて、絶景ポイントが多数出現！

冬のハイキングは、陽の光と適度な運動で、体がポカポカになります。でも、魅力は、それだけではありません。木の葉が落ちているので、視界が開けるのです。そのため、夏や秋には存在しない絶景ポイントが多数出現。これを見つけながら歩くのも楽しいものです。冬は空気が澄みきっていて、景色を楽しむには最高の季節。フユ

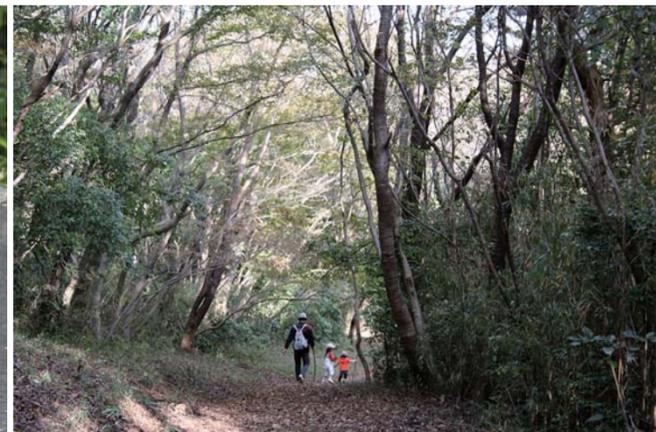
チゴや自然薯、イノシシの足跡や優雅に空を舞うパラグライダー…楽しい出会いもいっぱいありました。南山展望台へ続くコースは基本的には登りですが、登りが続くと、平坦な道、少し登ってまた平坦な道…といった感じ。歩きやすく、ハイキング初心者にもおすすめです。笠間の自然を思いっきり楽しみましょう！



ハイキングコースには滑り止めとし、所々に杭が打ち付けてあります。



コースへ行く途中に残されていたイノシシの足跡。たくさんありました。



取材した日に見かけたハイキングを楽しむ親子。小さな女の子でも、楽しく山歩きが出来るコースです。読者の皆さんも、ぜひチャレンジしてみてください！

●スカイロッジで、おいしい冬を満喫する、宿泊プランを

住/茨城県笠間市上郷2775-7 電/0299-45-6622 料/4人用ログハウス16,800円(4人まで)~

愛宕山頂のすぐ近くに、ログハウスの宿泊施設「スカイロッジ」があります。ハイキングの後で、星空や夜景などで、笠間の冬の夜を満喫しながら、ゆっくりと疲れを癒しましょう。スカイロッジでは、まな板や包丁、電気グリル鍋（鉄板焼+鍋）、炊飯器など、調理器具がほと

んど揃っています。つまり、食材だけ持ち込めば好きな料理が作れるのです。有料のバーベキュー施設もあります。地酒や農産物をはじめ、地元産のおいしい食材が充実している街「笠間」。それらの食材を手に入れて（JAの直売所などがおすすめ！）、あったかな夜を過ごしましょう。



【お得な情報】2008年1月4日~3月末は冬季キャンペーンのため、宿泊料金が30%OFF。*土・祝前日を除く

Made in KASAMA

メイド・イン・笠間で行こう！

ちょっと難しい話になりますが、笠間の歴史ある地場産業のひとつである笠間焼は、平成4年に当時の通商産業大臣より、国の伝統的工芸品に指定されました。県内では、結城紬や真壁の石灯籠などが伝統的工芸品に指定されています。

【その11】笠間焼伝統工芸士って何だろう？

●伝統工芸士による実演 / 茨城県窯業指導所「匠工房かさま」/ 2007.10.8

笠間焼の伝統工芸士である増岡浩二さんが、ロクロの実演を行いました。ロクロの実演前には、土を採取してから笠間焼が出来るまでの説明や、菊揉みという技法を実演しながら「こうして粘土に入っている空気を抜いていくんです」と、作業のひとつひとつを説明。そしてロクロの実演では、ロクロをまわしながら次々と出来る、湯のみ、皿、花瓶、急須などに、会場の皆さんも熱心に見入っていました。「土と会話をしながら、自然に形になっていくんです」という言葉が印象的でした。



ともない、伝統的工芸品の需要が低迷していることなどにより、後継者の確保育成が難しく、業界全体の大きな課題となっています。

これに対処するため(財)伝統的工芸品産業振興協会では、「伝統的工芸品の振興に関する法律」により「伝統工芸士」事業を展開しています。伝統工芸士になるための条件としては、12年以上の実務経験年数や、産地内に居住しているな

どがあります。二年に一回の試験で、知識試験と実技試験があり、全国で認定登録されている伝統工芸士は約4,600名。そして現在、笠間焼伝統工芸士は13名が認定登録されています。皆さん、伝統的工芸品の貴重な担い手として産地固有の技術・技法の研鑽に努め、その技を次代へ継承していくための中核の人材として期待されています。ここでは笠間焼伝統工芸士会の、活動の一部を紹介します。



●笠間焼伝統工芸士特別展 / 匠のまつり会場(笠間芸術の森公園イベント広場) / 2007.11.1~11.4



一般の人に広く、伝統工芸士を広めようと、匠のまつり会場に、笠間焼伝統工芸士のテントが設置。13名の伝統工芸士の作品が一同に展示・販売されました。テントには、交替で、伝統工芸士の皆さんが来場者を迎え、作品についていぬいに説明していました。笠間焼伝統工芸士会では、このようなイベントなどに積極的に参加し、PRに努めています。

貴重な国の伝統的工芸品
担い手たちの活動に注目しよう！

FAN FAN KASAMA



1952年横浜生まれの55歳。1977年、焼き物をするため笠間へ。「座・陶の小径(陶の小径商店会)」を立ち上げ会長を務める。趣味は写真・自転車・ギターなど。現在、妻、一男一女、祖父母、愛犬一匹の7人(?)家族。

好きなことをしていたら、どんどん広がっていききました

●15年前に「女声合唱団コール・ポプリ」を立ち上げ、指導しています。音楽大学で声楽を専攻し、他にも趣味でピアノ、エレクトーン、ダンス等習って来ました。それらが全部、合唱に役立っています。「協力の芸術」といわれる合唱に全力を注いでいたら、友部文化協会(現在事務局)とのご縁が出来て、そこからクールシュヴェール国際音楽アカデミーへと繋がっていききました。好きな事をしていたらどんどん広がっていき、色々な活動をするようになったのです。

●クールシュヴェールも今度で4回目。より充実したものにしていきたいです。そのためには一般の人たちも、たくさん関わってほしいです。音楽家を目指す者に限らず、誰にとっても、世界の一流の先生に触れ合う事は、とてもいい学び・気づきがあります。行ってみれば、必ず何かを得られると思います。チャンスは自分から作るものです。

●もうひとつお伝えしたいのが、11月に行われた文化協会主催の文化祭「ゆう・友文化スクール」にける思いです。友部が老人の町とならぬよう、若者にとって魅力的であるためには、この町の大人が素敵で、生き生き暮らしていることを見せる交流の場が必要では、と考えていました。その先先に「体験型文化祭」を、との提案がありました。大いに賛同して参加を決めました。コーラスのメンバーの協力により、4回目からは「和洋楽器体験ツアー」のスタイルに。客足は順調に増えて、「来年もやってくれる?」との声もあり、続ける力となっています。

●ボランティア活動をたくさんやっています。どれも楽しいし、勉強になります。だから与える事よりも、もらえる事の方が多いです。これからも活動を続け、後継者を育てていきたいです。

間

ファンファンインタビュー
笠間に来て得しちゃったと思える事を
ふるさと案内人 / 山崎雅宏(まさまさひろ)さん

●ふるさと案内人は、結成当初からのメンバーです。笠間は魅力的な要素をたくさん持っているのに、活かしきってません。見る所がたくさんあって、焦点がぼけているのかも知れません。京都がそうになったように、もっと若い人が来るように出来ると思います。それにはストーリーが必要です。物を売るのではなく、事を売るのです。案内人がお客さんに「笠間に来て得しちゃった」と思える事を2つ3つ、教えてあげられたらと思います。それも楽しく話して、飽きないように。

●「座・陶の小径」では年間を通してイベントを企画しています。春は桃宴、6月の週末は路面喫茶。夏には十六夜まつり、そして冬はオルゴール展です。ぜひ足を運んでみてください。

●アートがあって、歴史的遺産もある。おいしい料理が食べられる。アート、歴史、料理で魯山人につながるのです。3~4日、ゆっくり滞在して、堪能してほしいです。

●笠間は東京からも近く、決してブームに流されない確かな財産があります。たくさんの方にPRしていきたいです。

人

ファンファンインタビュー
愛知県に生を受け、転勤族の家族として国内各地を転々。夫の赴任に伴い、平成元年から、旧友部町在住。趣味は映画鑑賞。現在、友部文化協会、クールシュヴェールの会、JAFドレミグループ等のボランティア、女声合唱団コール・ポプリ指揮者、合唱曲の作曲を手掛ける等、多岐にわたって活躍中。



かさまLOVE♡ 人、募集中!

声 ファンファンボイス

~会員の皆様の声、いただきました~

- 笠間焼が大好きで、10年前から笠間に通っています。窯業指導所で親切にして頂き、また笠間が好きになりました。(神奈川県・女性)
- 実家に帰ると必ず笠間に焼き物を見に行きます。茨城が誇る唯一の歴史ある観光地「笠間市」。街全体が雰囲気良く素敵です。更なる発展を望みます。(東京都・男性)
- 笠間に近いことから気が向くとよく遊びに行きます。たどり着くまでのドライブも気分転換になりますし、自然が残り、歴史ある建築や芸術品がたくさん大切に保管されている笠間が大好きです。(茨城県・女性)
- 自然と触れ合える街として、気軽に歩ける低い山々等をPRし、さら

に多くの観光客を誘致すると、多面的に市の活性化を図ることができると思います。ただ、この方面への路線バス等の便を考慮する必要があります。(茨城県・男性)

●もうじき定年を迎える団塊の世代の一人です。陶器に興味を持ち、休日には益子と笠間を交互に訪れています。陶器を見るという観点で言わせていただきますと、整備された益子の方がポイントは高いですね。しかし、笠間を訪れる度に、焼き物だけではなく、それ以外の文化と共存するレベルの高い街を作ろうという、笠間の人たちのパワーを感じます。(茨城県・男性)

●近所の人を誘って、毎年秋は笠間に行きます。見所も沢山あり食べ物もおいしく、満足して帰ってきます。さらに、温泉に入るところがあると嬉しいです。(千葉県・女性)

※本誌に関するご意見、ご感想をお待ちしています。

観光客が選ぶおすすめショップ

手作り & 新鮮素材のお弁当

テイクアウト専門のお弁当とお惣菜のお店。店主の久保田俊雄さんを中心に、お弁当は1品1品全て手作り。自分の畑で作った新鮮野菜を使っています。添加物が入っていないので、安心、安全。人気メニューは幕の内弁当(600円)や、ビックサイズの1日30食限定のジャンボカツカレー(660円)。パーティーなどのオードブル、お弁当の配達もOKです。

キッチングルメ
住/笠間市下郷4439
電/0299-45-7181
営/9:00~20:00(14~17時は休憩) 休/毎週木曜日

お手頃な普段使いの器がいっぱい

オープン8年目の陶器のお店。笠間焼、益子焼を中心に、全国から店主が自らセレクトしてきた、手頃な値段の普段使いの器が並んでいます。店内にはギャラリーもあり、月2回のペースで個展が開かれています。東京、自由が丘にもお店があり、陶芸教室も開講。作品を飾るのではなく、日常使う器にこだわった、心が豊かになることを提案してくれるお店です。

きらら館
住/笠間市笠間2258-1
電/0296-72-3109
営/10:00~18:00 休/年末のみ
www.kiralakan.jp

平日のランチメニューは500円!

和洋中と、とにかくメニューが豊富。人気メニューは、かきフライ定食、もつ煮込み定食、野菜炒め定食など。店主の山崎真一さんは長年、フランス料理のシェフとして、東京、銀座で腕を奮ってました。パンやケーキも絶品。平日のお昼(11:00~13:30)は、6種類の肉や魚のランチメニューがなんと500円!ごはん、味噌汁、おしんこ、一品サービス付きです。

レストラン すわ
住/笠間市平町1248
電/0296-77-3015
営/11:00~20:00(休日は13時30分迄) 休/年中無休

首都圏から見た笠間 文・佐藤 昌平 (コミュニケーション コンサルタント)



「先週の土日、かみさんと笠間に行ってきましたよ」
「エッ笠間？ どこにあるの？ 何で有名？ 温泉だったかな」
たぶん東京の人の笠間・認知度は、こんな反応ではないだろうか。そこには官民一体となって、一生懸命知らせる努力をしている、笠間焼や菊まつり、稲田石材や地酒のカケラも連想されていない。地域の知名度や認知度を、経済的かつ効果的に高める方策のひとつに、マスメディアへの情報提供がある。テレビや新聞を通じて、番組や記事として報道される内容は、読者や視聴者に信憑性ある客観的出来事（ニュース）として受け止められる。

従って、できるだけ断続的露出が望まれ、露出が高まれば当然認知度が上がり、集客が容易になる。いまテレビでは「旅もの、食べもの、泊まりもの」など、癒しの番組が多い。それも東京から相当遠い温泉地や離島、漁港など、そこに住む人々の日頃のくらしの中の優しさや素朴さ、人情など、旅人とのふれあいをテーマにしたものが受けている。

マスコミの目は「人寄せ資源が何もない、

または人里離れた所で、人々はどんな暮らしをしているのか、村人の絆や苦楽を掘り下げ、忘れかけた“人の原点”を見出そうとしている。

一方、笠間には観光資源が山ほどある。前述の他に、稲荷神社を隣に、美術館、陶炎祭、みかげ石、芸術の森公園や自然公園等々。あり過ぎて、それらが有機的に結びついていないのではないだろうか。

大事なことは「笠間はどう見られているのか、どう見られたいのか、どう見せたいのか」をハッキリさせることで、集客戦略のコアコンセプトの明確化が問われているのではないだろうか。

「もの」から「ひと」へ、提供する情報の内容やテーマを変えてみるのもいいだろう。

“達人図鑑・この道ひと筋60年”

陶芸師、菊師、庭師、石工…

笠間人のくらしと高い芸術性にスポット。

「笠間・芸術の村」には、何となくなじむような人がたくさんいそうで、一度彼女と出かけようと思ってる」

「最近できた笠間芸術大学（仮）だろう？」

「昔のくらしが未だに残っているような“手

づくりの街”で、陶芸のほかに、絵画・彫刻／地ビール・ワイン／染色・織物／和紙・民芸／木工・ガラス／農菜園・花壇／等々のスクールが、街中や郊外に点在していて、何日泊まってもいい宿泊先まであるんだ」

「それぞれ肩肘張らない地元の技能師から教わったり、コミュニケーションできるのがいいね」

「歳の違う、いろんな職人生徒との交流もよさそう。土日や休日はいいいね！温泉がアレバネ更に…」

「いや、東京から近いんだよ。車で約2時間で芸術の村だよ」

「気がついたら村民／教師になってたりして…」



2007年11月、北関東自動車道の友部IC～笠間西IC間、9.1kmが開通しました。これにより笠間へのアクセスがますます便利になりました。ぜひご利用ください！

笠間ファン倶楽部 *活動報告2*



笠間ファン倶楽部は、体験イベントも盛りだくさん！

11月はすでに紹介した「星空満点ハイキングツアー」のほか、春風萬里荘にて「魯山人茶会」が、そして12月は常陸秋そばを種から育てた「とことん手づくりそばづくり」最終回・そば打ち編が開催されました。笠間ファン倶楽部では、今後も魅力たっぷりの体験イベントを企画しています。笠間の遊び方を知りたい方・知らせたい方は、ぜひご注目ください！

笠間ファン倶楽部 *会員募集中*

笠間ファン倶楽部は、笠間の隠れた情報を発信し、交流人(外の目)が多くの笠間人(内の目)とふれあえる場をつくる新しい仕組みです。笠間人も交流人も、互いに心の豊かさを感じられるような場にしていきたいと思っています。なお、会費は無料ですので、ぜひ皆さんお申し込み下さい。

●会員特典/レンタサイクル1日料金を半額(800→400円)、宿泊料金10%割引(一部旅館のみ)、本誌の発送(年4回)ほか多数！

●申込み/住所、氏名、メールアドレス、生年月日、笠間市への応援文等をご記入の上、はがき・FAX・メールのいずれかで下記へ。

申込み先/笠間市 産業経済部 商工観光課

〒309-1792 茨城県笠間市中央三丁目2番1号
TEL 0296-77-1101 FAX 0296-78-5130
E-mail kasamafan@city.kasama.ibaraki.jp

笠間 アクセスマップ

電車からのアクセス

東京方面から

上野→(JR常磐線・特急65分)→友部→(JR水戸線10分または無料周遊バス20分)→笠間
上野→(JR常磐線)→岩間→(JR常磐線6分)→友部→笠間

東北方面から

郡山→(JR東北新幹線80分)→小山→(JR水戸線60分)→笠間
→(JR水戸線10分)→友部→(JR常磐線6分)→岩間

車からのアクセス

東京方面から

三郷JCT→(常磐自動車道40分)→岩間IC→友部SASマートIC→友部JCT→(北関東自動車道)→友部IC

友部JCT→(北関東自動車道)→友部IC



！なるほど笠間辞典/木村武山は笠間生まれ
日本画の大家・木村武山は一八七六年、笠間市稲田に生まれました。最晩年の作品は、同所に自ら建てた仏堂・天日堂の壁面に残されています。最晩年の作品は、お孫さんが管理されていて見学も可能です。(笠間市史のページ参照)

笠間市基本データ 人口：80,599人 (2007年12月現在)
面積：240.25平方キロメートル 駅の数：6駅

この機関誌は、再生紙、大豆油インクを使用しています。 R100 高配合再生紙100%再生紙を使用しています。 PRINTED WITH SOY INK